



〈鶴ヶ島市立藤中学校だより 第11号〉

学校教育目標

ともに学び、未来を拓くたくましい生徒の育成

藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和7年1月8日 校長 竹田 聡

<3学期、新年を迎えて>

本年もよろしくお祈りいたします。事故の報告もなく新学期を迎えることができました。この場をお借りして、ご家庭のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

3学期は学年のまとめを行い、進級・進学に備える時期です。お子さん自身が自分の力でやり切り、自律から自立へとつながるような支援をお願いします。

<3学期始業式 学年代表の話>

1年生代表

長く濃い2学期が終わり、まとめの季節である3学期が今日、始まりました。3学期には、全員が首を長くして待っていた校外学習が行われようとしています。私たち1学年が成長する大きなチャンス逃さないように、抱負を3つ決めました。

1つ目は「一致団結する」です。校外学習では、生活班での活動も多くあり、分からないことがあってもお互いが信頼できるような活動ができなければうまくいきません。この抱負は校外学習だけでなく、普段の生活にも関わり、とても大切なことだと考えています。この目標を達成するためには、1学期に行った体育祭や2学期に行った合唱祭のことを思い出し、一人一人が意識して取り組むことが必要です。それがクラスだけでなく、学年全体で団結することができると思います。

2つ目は「明るい声がけをする」です。2学期では、1学年学級委員による「2分前着席キャンペーン」、給食委員による「1時いただきますキャンペーン」、生活委員による「ロッカーの整理整頓キャンペーン」、環境福祉委員による「黙々清掃キャンペーン」が行われました。これらのキャンペーンは気がついた人全員が声がけをすることができました。3学期では、この声がけをキャンペーンがなくてもできるような環境をつくるのが第一の課題です。全員が意識して生活しましょう。

3つ目は「次のことを見据えて行動する」です。何をしても先を考えずに行動するのはデメリットが多いです。例えば「2分前には着席して次の授業の予習をする」など、自分の中でやることリストを作ったりすると、普段の行動も大きく変わってくると思います。先生方の声がけの前に、自分たちで正しい行動ができるようにしましょう。これらの抱負では、一人一人が意識するという点が共通しています。今までのように誰か一人がやっているから私はやらなくてよいではなく、あの人がやっているのなら私もやろうという考えや、私から声がけをしてみようなどといった、一人一人の考えや行動が学年全体の質を高めることにつながります。3学期の校外学習は、私たちにとって学年がさらに飛躍する大きなチャンスです。1学年のラストスパート、次の学年に向けて学級委員や班長、たくさんの方の呼びかけなど一人一人が率先して動き、たくさん楽しむ。これらを意識して、3学期も全

員がもっと協力することができる学期にしていきたいと思います。

2年生代表

僕が3学期に頑張りたいことは3つあります。

1つ目は学習です。3学期には、2年生最後の学期末テストがあります。前回のテストでは、自分の苦手な教科の勉強が計画通りに進まないことがありました。ですから、今回は余裕をもって計画を立て、効率的に勉強をしたいです。また、苦手な教科の国語や英語は基礎を復習し、自分のどこが欠点なのかを分析して点数をあげたいです。そして、得意教科の数学、理科、社会はケアレスミスや文章の読み間違いなどでの減点が多かったので、そこを改善し前回よりも高得点を目指したいです。

2つ目は部活動です。僕は、これまで部長として部を引っ張ってきました。ソフトテニス部は現在30人の部員が所属しています。大勢の人の意見を聞いたり、まとめたりしていくことは大変なこともありました。しかし、日々部員の結束力が高まり、前回の新人戦では、県大会へ出場することができました。出場する選手も応援する選手もみんなで一丸となつてがんばりました。一方、部全体の課題としては、体力やメンタルの強さが足りないと感じました。県大会で見た強い選手は、どんなに長いラリーが続いても、集中力を切らさずにしっかりと体全体で打っていました。また、どんなに追い詰められても最後の1点まで諦めずに、ペアと協力してプレーをしていました。これを改善するために、休日練習では15分間のジョギングや下半身、体幹を鍛えるアップを念入りに行っています。最近は顧問の先生にも、「前よりもラリー時の打球の速さやコースがうまくなっている」とご指導いただきました。今後も冬の寒い練習やきつい練習にも食らいつき、体力やメンタルを鍛えていきます。そして、僕達の学年にとって最後の大会となる学校総合大会では、これまで以上の「全カプレー、全カ応援」を目指していきます。

3つ目は修学旅行です。僕は修学旅行実行委員として準備を行っています。修学旅行実行委員は、一人一人が役割に分かれて昼休みや放課後に計画を立てたり、修学旅行を成功させるために細やかな準備をしたりしています。今回の修学旅行では、今までと違い2泊3日で新幹線やタクシーを使った長距離移動が多い行程になっています。僕は準備が念入りにされているからこそその成功

があると、今までの経験で感じました。アメリカの実業家のヘンリー・フォードも「Before everything else, getting ready is the secret of success.」「成功の秘訣は、何よりもまず、準備すること」といっています。なので、自分の任された役割を全うし綿密な準備をしたいです。さらに、2年生全員が自分の役割を果たし、全員が楽しかったと思える修学旅行にしたいです。

今まで何度も「2年生の3学期は3年生の0学期だ」と先生方に言われてきました。3年生の0学期では、今あげた3つのことを中心に頑張っていきたいです。3ヶ月後には3年生が卒業し、僕達は3年生となり藤中を背負います。そのためには、この3ヶ月の準備が必要だと思い、僕達の分岐点になると思います。1日1日の重みを感じて、充実した3学期にしたいです。

3年生代表

冬休みが終わり、3年生にとっては、中学校生活最後の学期が始まります。卒業と受験が近づいてきている今、3年生は受験に対する不安、卒業する寂しさ、高校生活への期待などの様々な感情をもっていると思います。3学期、私が3年生全体で頑張っていきたいことは「感謝」「思いやり」「笑顔」の3つです。

まず「感謝」についてです。私達は今まで仲間や先生方、家族、藤中学校などの支えのおかげで、多くの経験を積み、大きく成長することができました。失敗をしたときでも、寄り添い、背中を押してくれたからこそ、私達は何度も挑戦することができたのだと思います。そんな生活が残り3ヶ月ほどで終わってしまうことに私は、正直実感が湧いていません。短い期間で、3年間支えてきてくれたすべての人、環境に「感謝」を伝えるためには成長した姿をみせることも大切ですが、私は言葉で素直に伝えることが一番よい方法だと思います。卒業式まで、あつという間に時間が過ぎていきます。そのため日々の生活から、感謝の気持ちを忘れず、「ありがとう」というたった一言でもよいので自分の素直な気持ちを言葉で伝えるということを意識しましょう。

次に「思いやり」についてです。私達の学年では、思いやりをもった行動をできる人がたくさんいます。ですが、ほんの一握りの人たちでも、周りへの気遣いに欠けている行動をしまうと、これから本格的に受験が始まって行く中で、その一部の人たちが原因で、周りのモチベーションが低下してしまい、心身共々疲弊する学校生活で終わってしまうことが心配されます。ここまで一緒に頑張って来た時間を無駄にしないよう一つ一つの言動に気をつけて、思いやりのある行動を意識し、後悔の残らない最高の学校生活を目指していきましょう。

最後は「笑顔」についてです。私達の学年はDisneyのように皆が「楽しかったね」と言って終われる最高の学年にすることを目標に頑張ってきました。そのおかげで、ここまで誰一人「笑顔」が欠けることなく過ごしてこれたのではないのでしょうか？学年主任の佐野先生曰く、「この学校から巣立っていられるのが名残惜しい」だそうです。そんな学年を作られて私自身とても誇らしいです。クラスや学年をつくり皆が協力していくということは、簡単なことではありません。私達は3年間笑顔が欠けることなく生活することができました。それはみんなが一人一人、勉強や行事に対して

全力で取り組んできた証だと思います。自分だけでなく、周りも笑顔にすることを心がけていきましょう。3月14日、卒業式の日まで、笑顔を忘れずに生活し、最高のDisneyを最後まで作り上げていきましょう。

また、3学期に私自身が頑張りたいことは、全てに対して「全力投球する」ということです。私達3年生にとっては、卒業まで残り65日しかありません。受験まではとにかく勉強ですが、受験後勉強はもちろん、生活面も含めて残り少ない中学校生活を充実したものにしていきたいです。そのためには、受験に合格するまで日々計画を立て、行動に移して、1分1秒も無駄にしないように過ごしていきたいと思います。最後に、3学期は、自分との戦いで孤独を感じることもあるかもしれませんが、でも、大丈夫です。私達には、たくさんの仲間がいます。3学年全員で、受験という大きな壁を乗り越え、最後には全員が笑顔で卒業できるよう、今日から始まる3学期、1日1日をより大切に過ごしていきましょう。

<校長の話(概要)>

本年もよろしくお祈りします。私の冬休みついて、2つ話をします。1つ目は、高校・大学の部活動の友達と会いました。思い出話で盛り上がり、近況報告では同じような悩みを抱えていることを知り、有意義な時間を過ごすことができました。2つ目は、藤中の屋上で、「初日の出」を拝みました。校長になってから、1年の無事を願い、学校で「初日の出」を拝んでいます。今年は快晴で、きれいな「初日の出」を見ることができました。1秒1コマで撮影しましたので、機会があれば見てください。

さて、学年も残り1/4、既に3/4が終わっていますので、1つ上の学年の意識で、「まとめ」と「準備」に取り組みましょう。その際、私が期待することを3つ話します。

1つ目は学習を大切にしましょう。今の学年で新たに学んだことは、次の学年ではできて当たり前のことになります。自分の学習状況を、質と量の面から見直しましょう。学習には個人差があります。持久走と同じように、早くゴールした人は遅れている人を応援しましょう。持久走では、大きな声が応援になりますが、考える場面では静かに待つことが応援になります。また、質問されたら答えを教えるのではなく、何が分からないのか理解して考え方を教えましょう。

2つ目は仲間を大切にしましょう。3年生は卒業式、1,2年生は修了式までに別れが惜しいクラスとなるようにしましょう。そのために、気持ちのよいあいさつをすることと「ありがとう」と感謝を伝えることが大切です。何かあっても言い方・伝え方に気を付けましょう。特に、感情的になりそうときは、深呼吸をして冷静に話すことで、コミュニケーション能力も高まります。また、冬休みの前に話したようにイジりは「いじめ」につながるので、絶対にやめましょう。

3つ目は校舎や教室を大切にしましょう。借りていることを忘れずに、次の学年へよい状態で引き継げるように、清掃や整理整頓を心がけましょう。気配りや気遣いは行動に表れますので、感謝の気持ちが伝わる清掃、整理整頓を期待しています。「立つ鳥跡を濁さず」、残すのは感謝の気持ちだけにしてください。

年末や学年末になると、「終わりよければすべてよし」と帳尻合わせの言葉が聞かれます。昨年度も話しましたが、「はじめよければ終わりよし 終わりよければすべてよし」と続きます。3学期が、令和7年のよいスタート、令和6年度のよい終わりとなることを期待しています。